

めぶきフィナンシャルグループ

個人投資家さま向け会社説明会



MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ

2026年3月
(東証プライム 7167)

目次

1. めぶきFGってどんな会社？ P3
2. 『銀行』と『金利』の関係は？ P8
3. めぶきFGの強みとは？ P14
4. めぶきFGってこれからどうなるの？ P24

1. めぶきFGってどんな会社？

2. 『銀行』と『金利』の関係は？

3. めぶきFGの強みとは？

4. めぶきFGってこれからどうなるの？

1 (1) 会社概要・グループ体制

■ 会社概要・グループ体制 (2025年9月末)



商号	株式会社めぶきフィナンシャルグループ
設立	2008年4月(2016年10月 商号変更)
本店所在地	東京都中央区日本橋室町2丁目1番1号
本社所在地	(水戸本社) 茨城県水戸市南町2丁目5番5号 (宇都宮本社) 栃木県宇都宮市桜4丁目1番25号

代表者	社長 秋野 哲也、副社長 清水 和幸
上場	東証プライム市場(証券コード:7167)
従業員数	6,015名(外、平均臨時従業員数 2,903名)
総資産	20兆9,767億円
時価総額	1兆2,032億円(2026年2月17日終値1,270.5円、自己株式含む)

1 (2) 沿革

■ めぶきフィナンシャルグループの歩み

常陽銀行の歴史

設立 91周年目

1935年 常磐銀行と五十銀行の合併により設立



足利銀行の歴史

設立 131周年目

1895年 栃木県足利郡足利町にて創業



めぶきFGの歴史

2026年10月 FG設立10周年

2016年10月

常陽銀行と足利銀行が経営統合し、

めぶきフィナンシャルグループが発足



長期ビジョン2030

目指す姿

地域とともにあゆむ価値創造グループ

社名に込めた思い

「めぶき(芽吹き)」は“樹木の新芽が出始めること”を意味し、グループ各社の知見と創意を結集させることにより、瑞々しい発想や新しい価値が次々と生み出される様を「めぶき」という言葉で表現し、グループ名称に用いています。社名には、地域に新たな価値と活力を芽吹かせ、地域とともに持続的成長を実現していく思いを込めています。

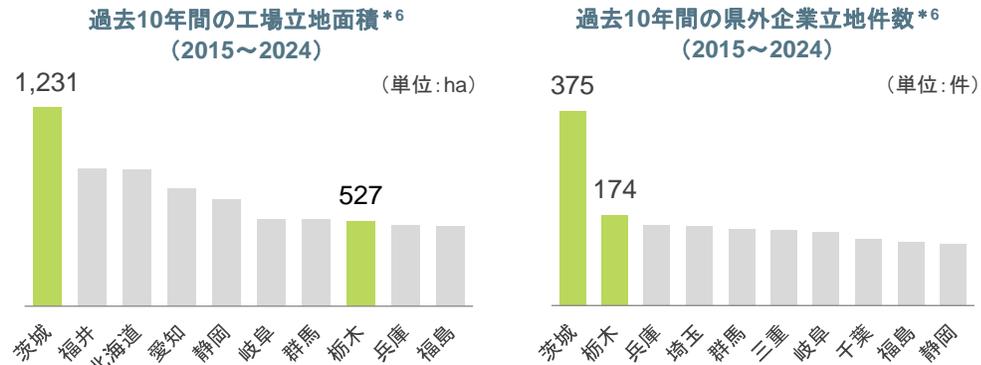
1 (3) マーケットポテンシャル・店舗ネットワーク

■ 主要マーケットの特徴(栃木県・茨城県)

経済規模					
経済指標		栃木県		茨城県	
	GDP 名目県内総生産*1	9.5兆円	16位	14.5兆円	11位
	一人当たり県民所得*1	343万円	6位	348万円	3位
	事業所数*2	7.1万事業所	20位	9.8万事業所	13位
	製造品出荷額等*3	9.8兆円	13位	15.0兆円	8位
	農業産出額*4	2,959億円	10位	4,536億円	3位
	漁業漁獲量*5	—	—	231千トン	3位

■ 地域特性

首都圏に隣接し、全国有数の**工場立地**地域

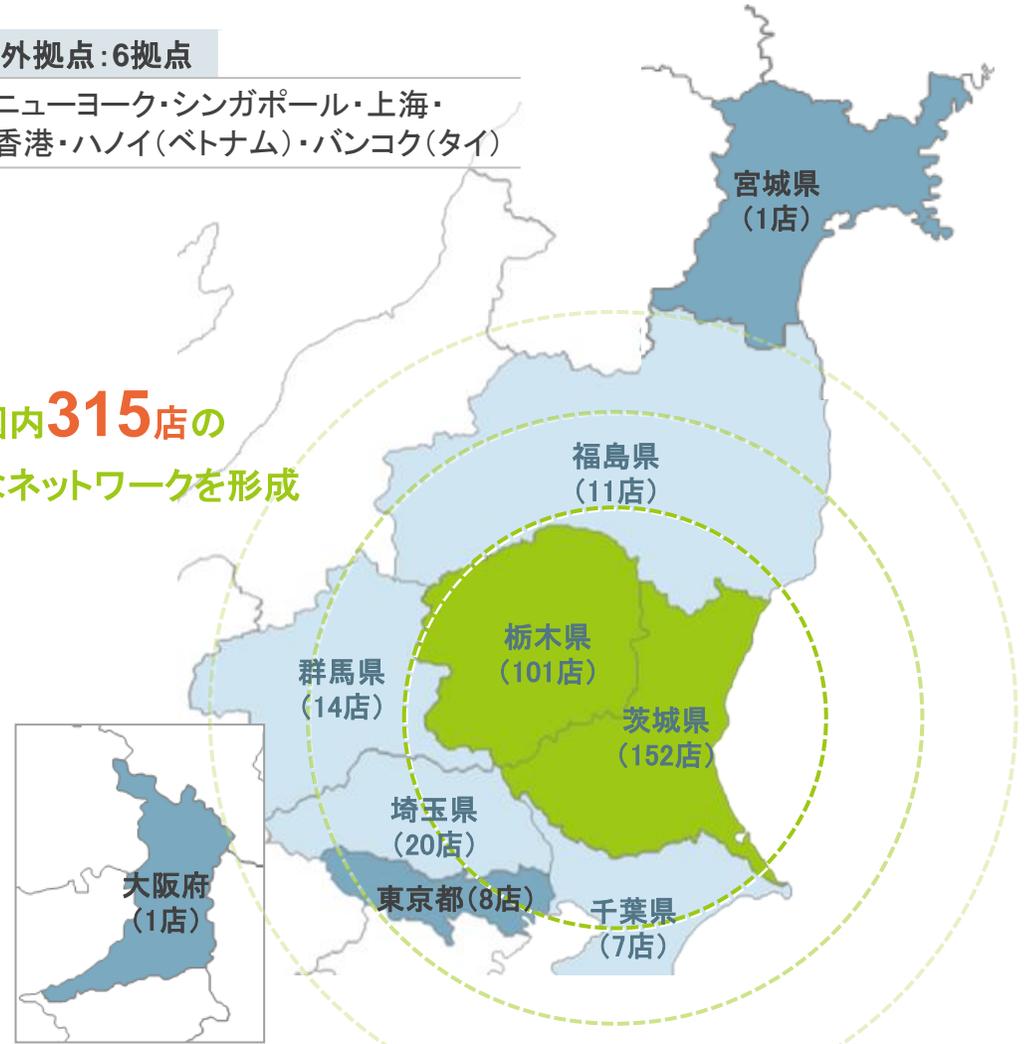


■ 国内店舗ネットワーク*7(2025年9月末)

海外拠点: 6拠点

ニューヨーク・シンガポール・上海・
香港・ハノイ(ベトナム)・バンコク(タイ)

国内**315店**の
広域なネットワークを形成

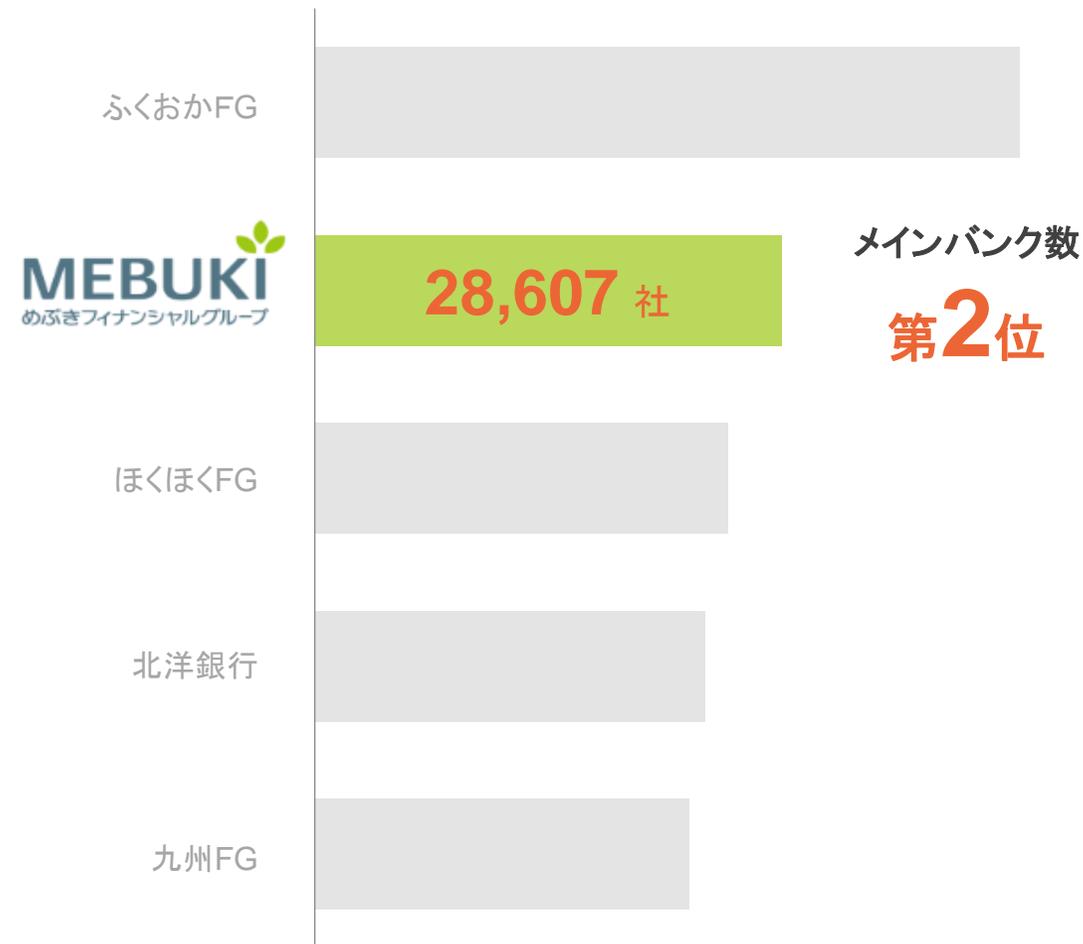
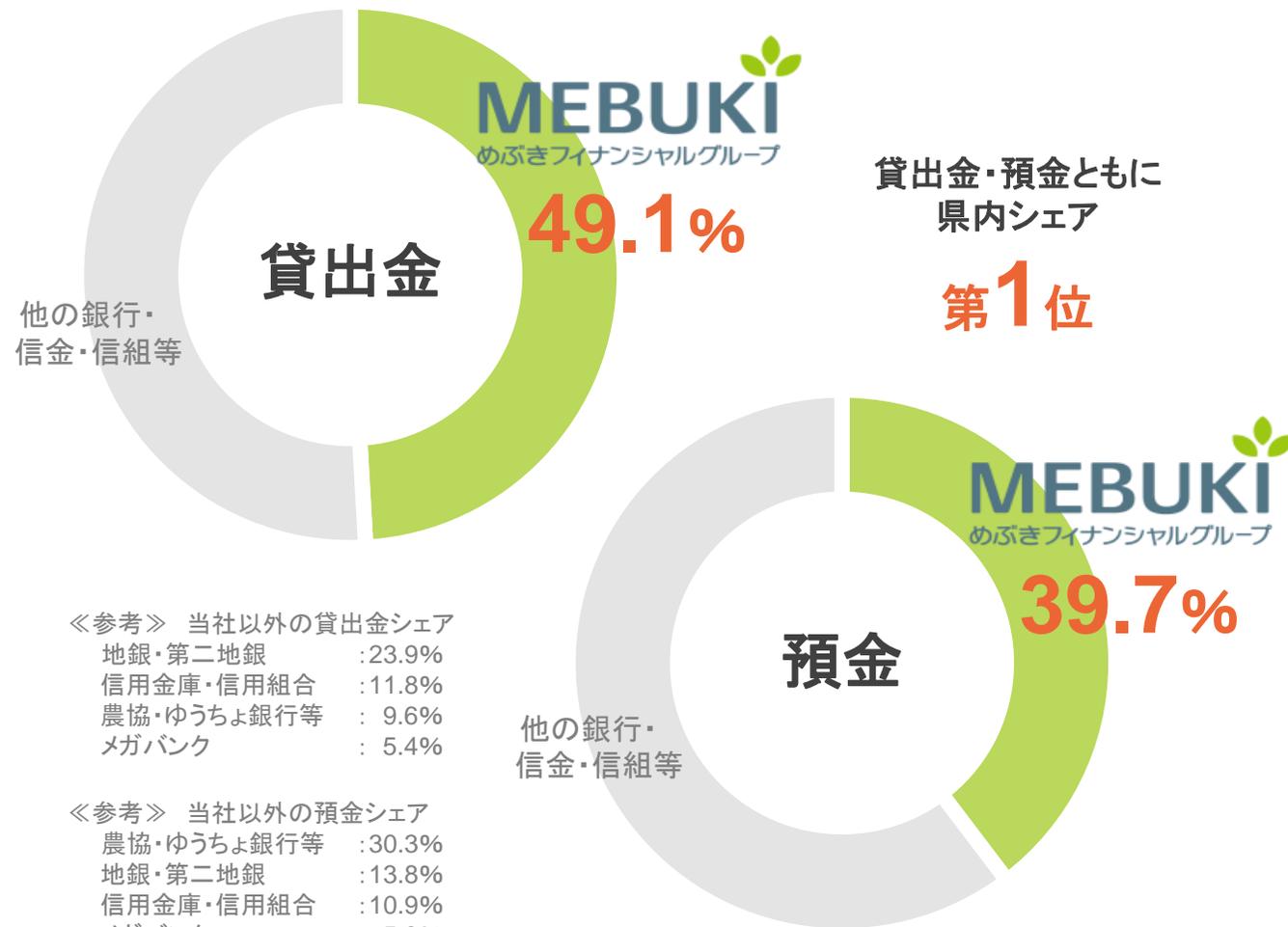


*1 内閣府「県民経済計算」(令和4年度) *2 総務省統計局「令和6年経済センサス-基礎調査」 *3 総務省統計局「令和6年経済構造実態調査」 *4 農林水産省「令和5年生産農業所得統計」
*5 農林水産省「令和6年漁業・養殖業生産統計」 *6 経済産業省「令和6年工場立地動向調査」 *7 バーチャル店舗・店舗内店舗を含む

1 (4) 主要マーケットにおける当社のポジション

■ 預金・貸出金のシェア*1(栃木県・茨城県)

■ メインバンク数*2(地方銀行上位5社・行)



*1 金融ジャーナル2025.11増刊号『金融マップ2026年版』のデータを基に当社算出

*2 帝国データバンク『全国「メインバンク」動向調査(2025年)』より、地方銀行・グループで当社作成

1. めぶきFGってどんな会社？
2. 『銀行』と『金利』の関係は？
3. めぶきFGの強みとは？
4. めぶきFGってこれからどうなるの？

2 (1) 日米政策金利の推移

■ 日本と米国の政策金利の推移



国内金利は
30年ぶりの水準に

【日本の金融政策】

1999年2月～

ゼロ金利政策

1990年代のバブル崩壊後の
長期的な景気低迷とデフレ脱却を目指す

2016年2月～

マイナス金利政策

金融機関による企業への融資・投資を促し
経済活動の活発化を目指す

2024年3月～

マイナス金利解除

賃金と物価の好循環により
17年ぶりの利上げ

2 (2) 国内金利上昇による銀行業績への影響

■ 国内金利上昇が銀行業績に与える影響

銀行の財務

用語解説

業務粗利益

業務粗利益の
大部分を占める

● 資金利益

役務取引等利益

特定取引利益

⋮

一般事業会社の売上総利益(売上一売上原価)に相当

『資金運用収益(貸出金利息や有価証券配当金など)』と『資金調達費用(預金利息など)』の差額

預り資産販売やコンサルティング業務などを通じて受け取った手数料

デリバティブ取引や市場取引から得た利益

金利が上がると、どうなるの…?

業務粗利益の大部分を占める

資金利益が増加することで**収益が拡大**

資金運用収益

貸出金利息や
有価証券配当金など

資金調達費用

預金利息など

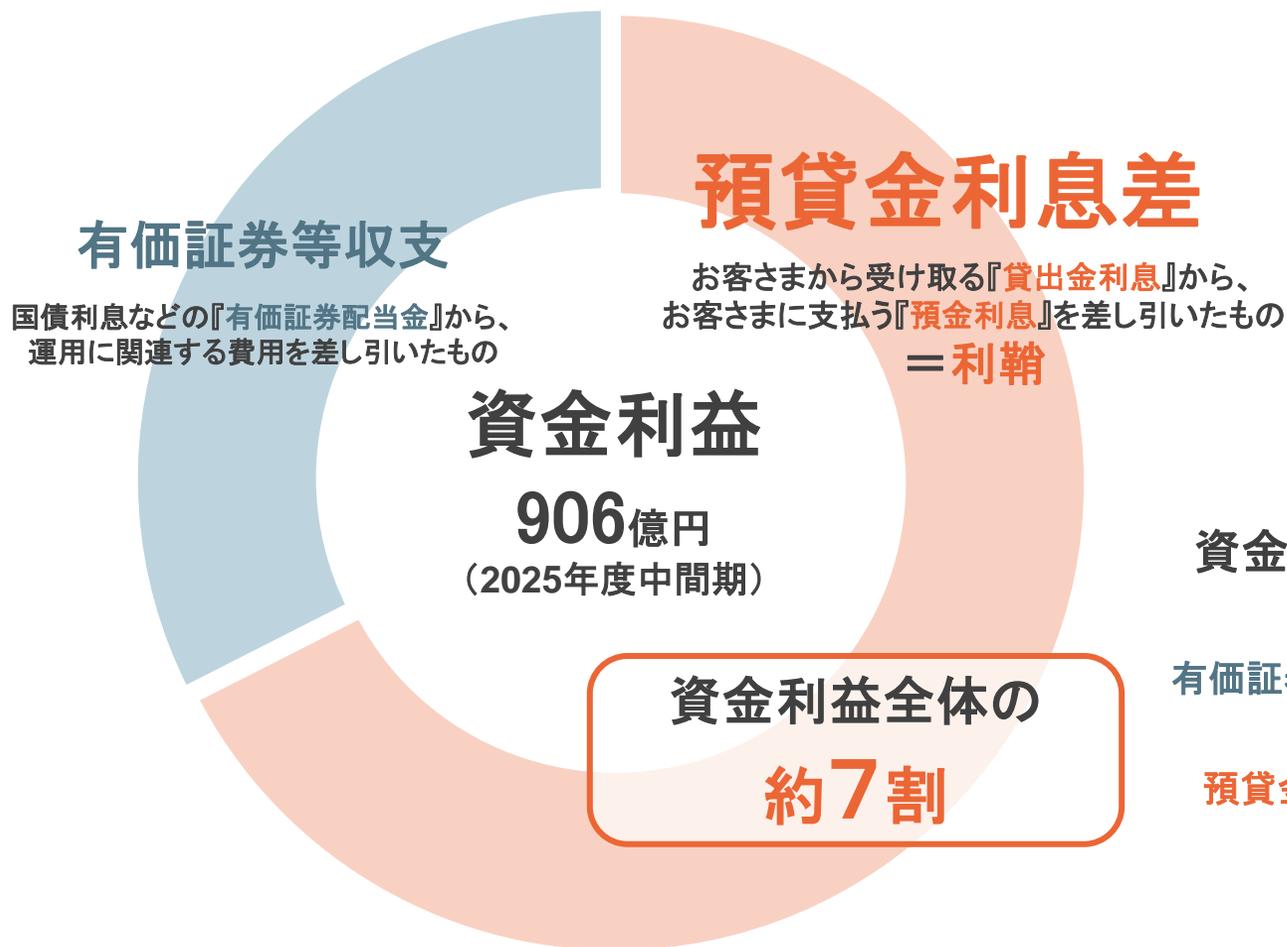
資金利益

貸出金利回りなどが改善し、
利鞘が拡大

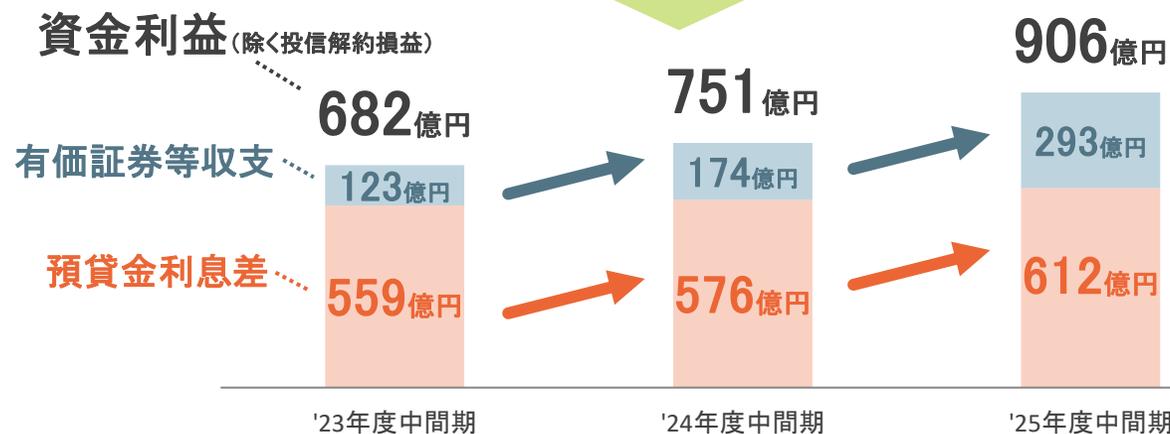
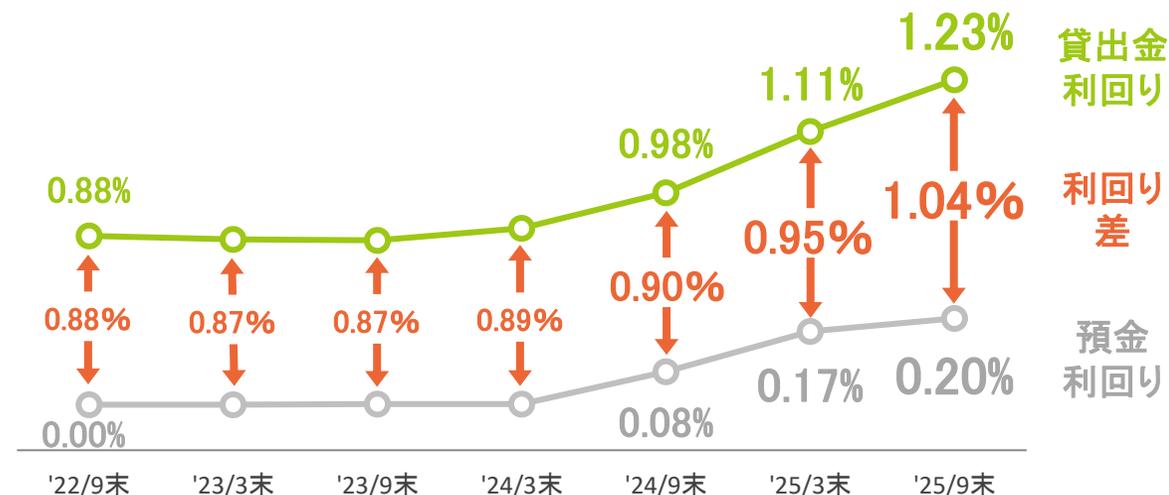
2 (2) 国内金利上昇による銀行業績への影響

■ 貸出金利回り改善による資金利益の増加

めぶきFGにおける資金利益の構成



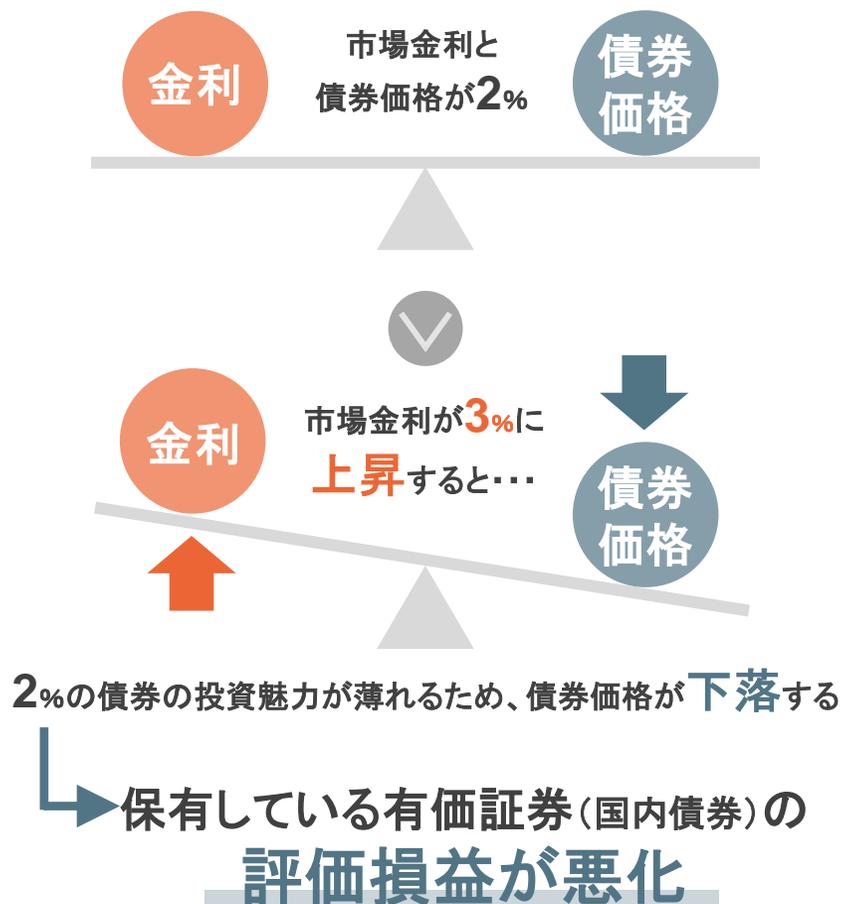
貸出金利回りと預金金利回りの推移



2 (2) 国内金利上昇による銀行業績への影響

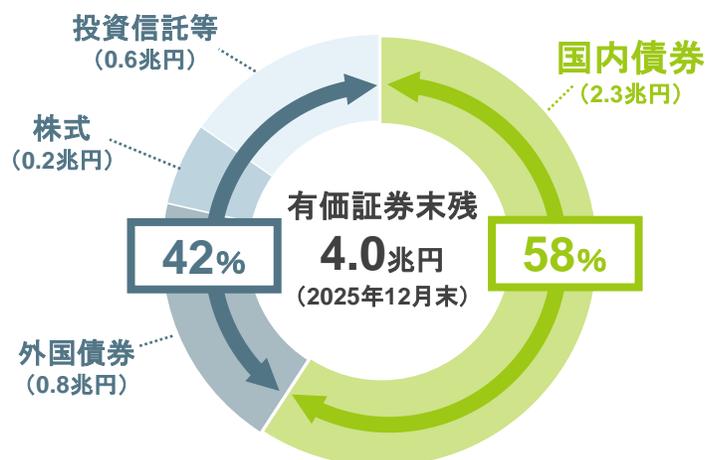
国内金利上昇に伴うリスク要因

金利と債券価格の関係(イメージ)

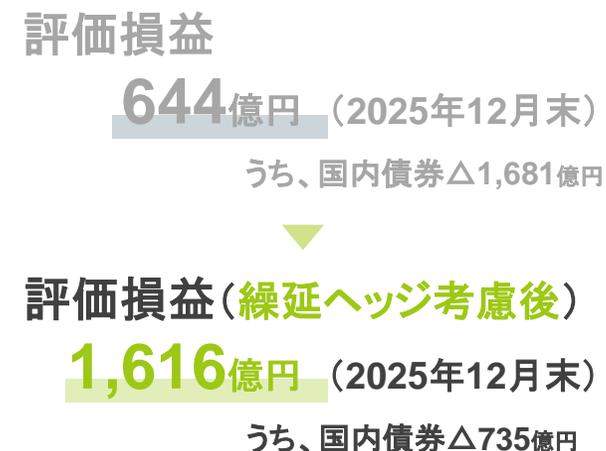


めぶきFGにおける有価証券運用の特長

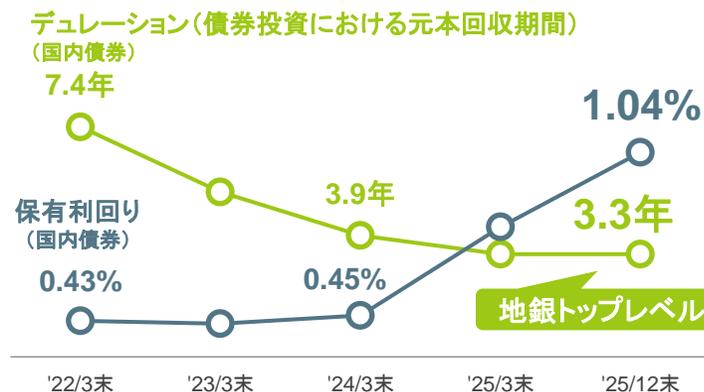
Point 1 分散されたポートフォリオ



Point 2 評価損益コントロール(ヘッジ取引)



Point 3 金利上昇に備えた再投資余地



金利上昇局面でデュレーションが『短い』と...

1. 債券価格の下落(評価損益の悪化)を抑制しながら、
2. 早い段階で償還分を高い利回りの債券に再投資でき、
3. 有価証券等収支の更なる拡大が期待できる

2 (3) 銀行業と他業種の株価比較

■ 過去5年間の株価パフォーマンス(2020年4月1日を100とした比較)



1. めぶきFGってどんな会社？

2. 『銀行』と『金利』の関係は？

3. **めぶきFGの強みとは？**

4. めぶきFGってこれからどうなるの？

3 (1) めぶきフィナンシャルグループの強み

- 『めぶきフィナンシャルグループの強み』をご理解いただく上での3つのキーワード

MEBUKI
めぶきフィナンシャルグループ
の強み



確かな成長性



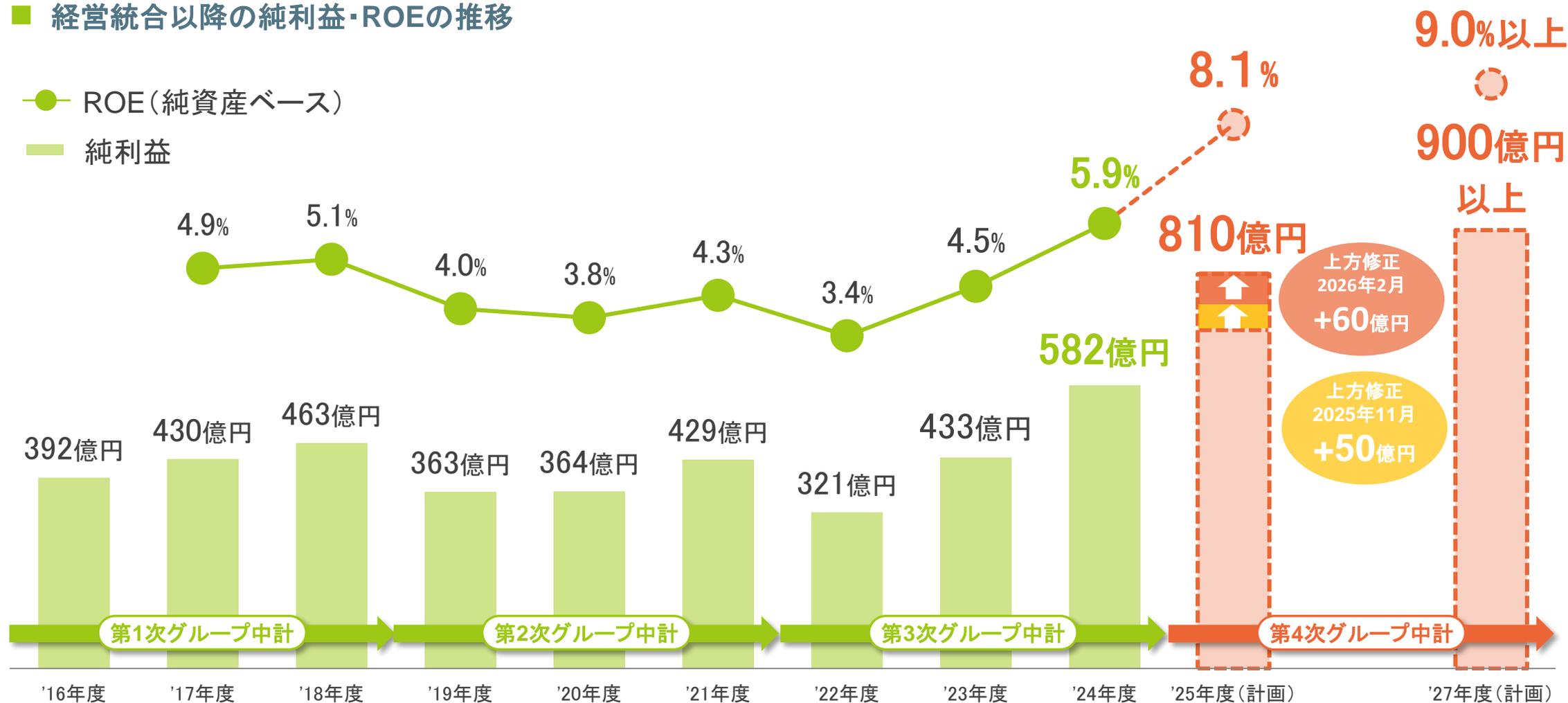
資本・資産の健全性



積極的な株主還元

3 (2) 確かな成長性

■ 経営統合以降の純利益・ROEの推移



【日本の金融政策】

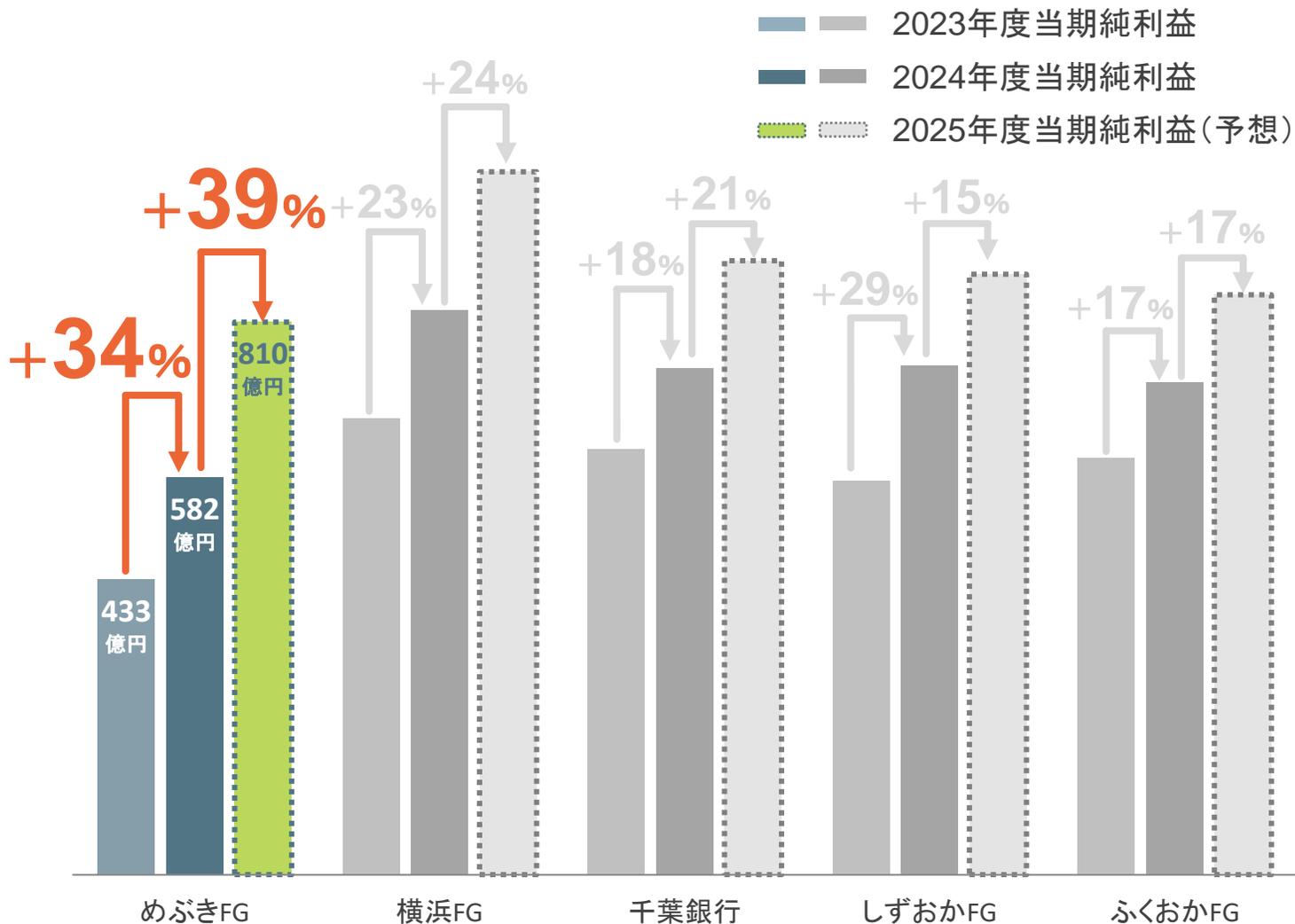
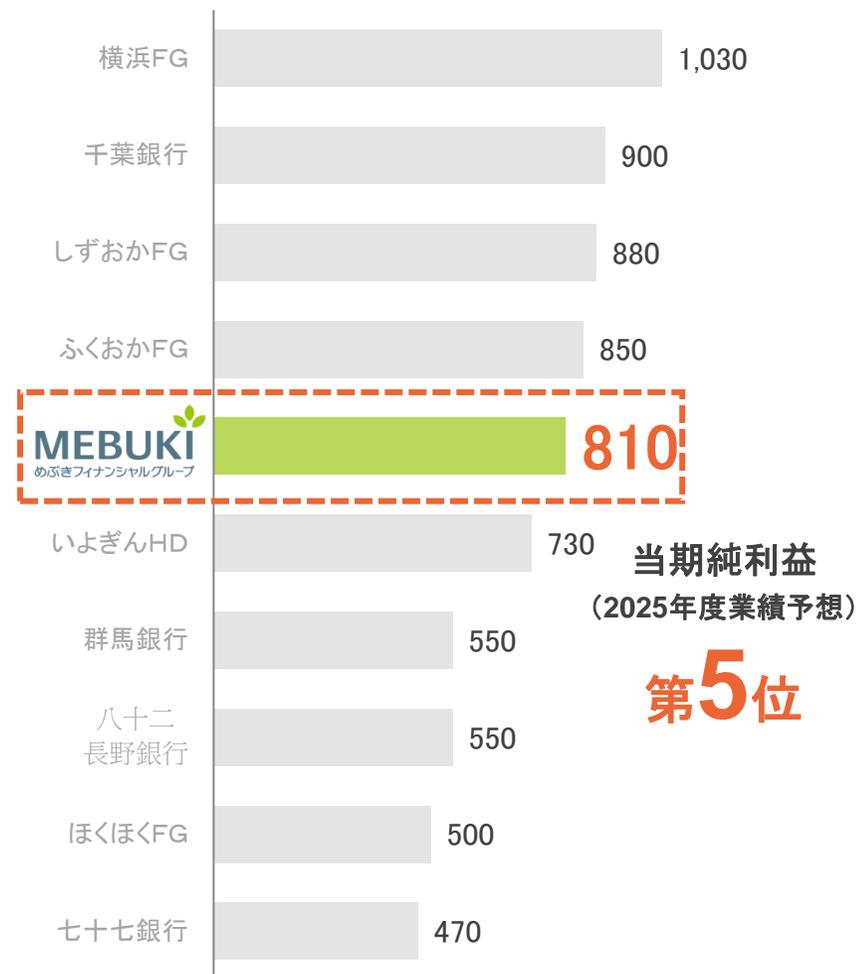


3 (2) 確かな成長性

■ 純利益の地方銀行セクター比較(上位10社・行)

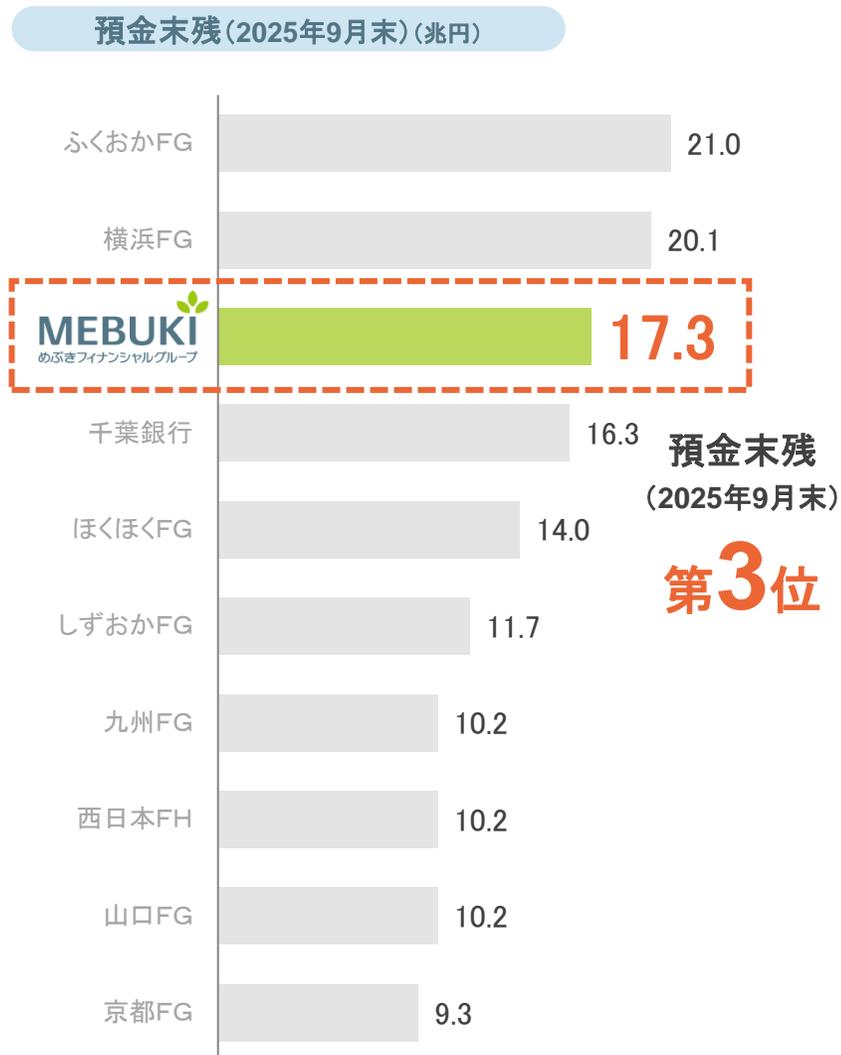
■ 地銀大手行の利益成長率の推移

純利益(2025年度業績予想)(億円)



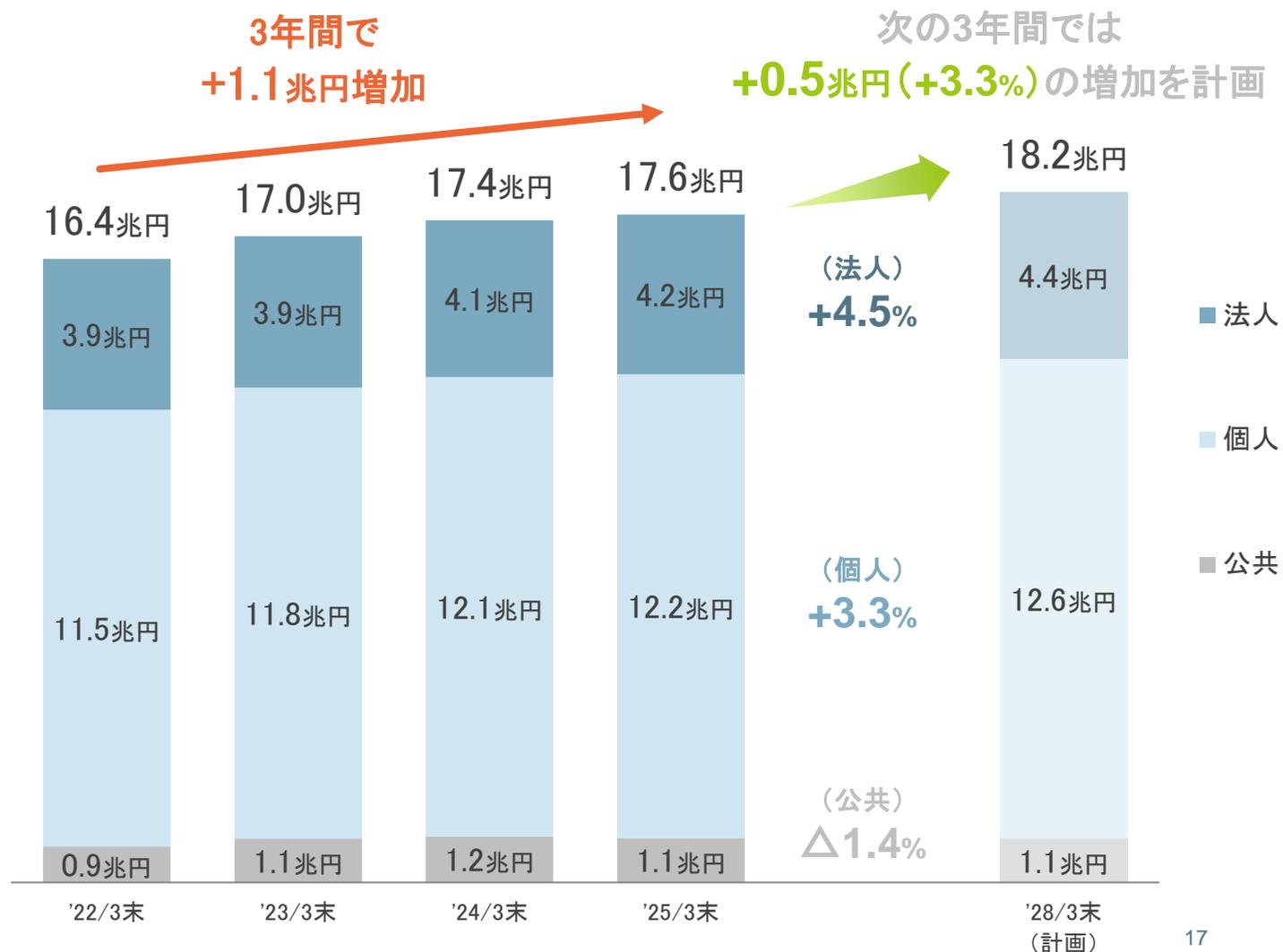
3 (2) 確かな成長性

■ 預金の地方銀行セクター比較(上位10社・行)



■ 円貨預金平残*1の推移

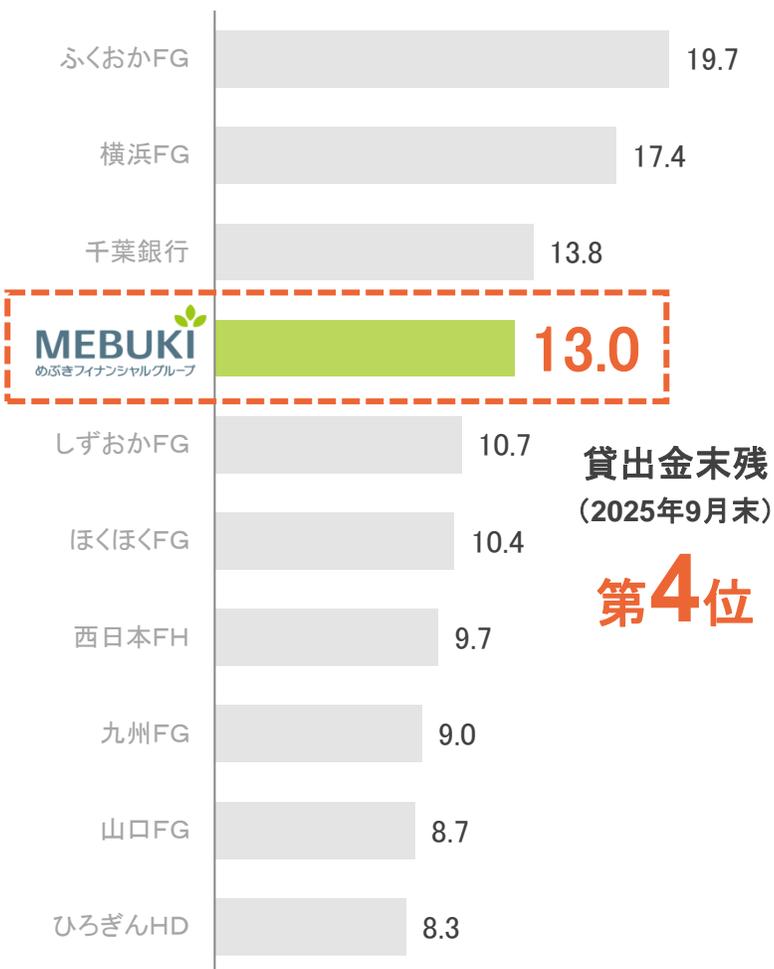
*1 譲渡性預金を含む



3 (2) 確かな成長性

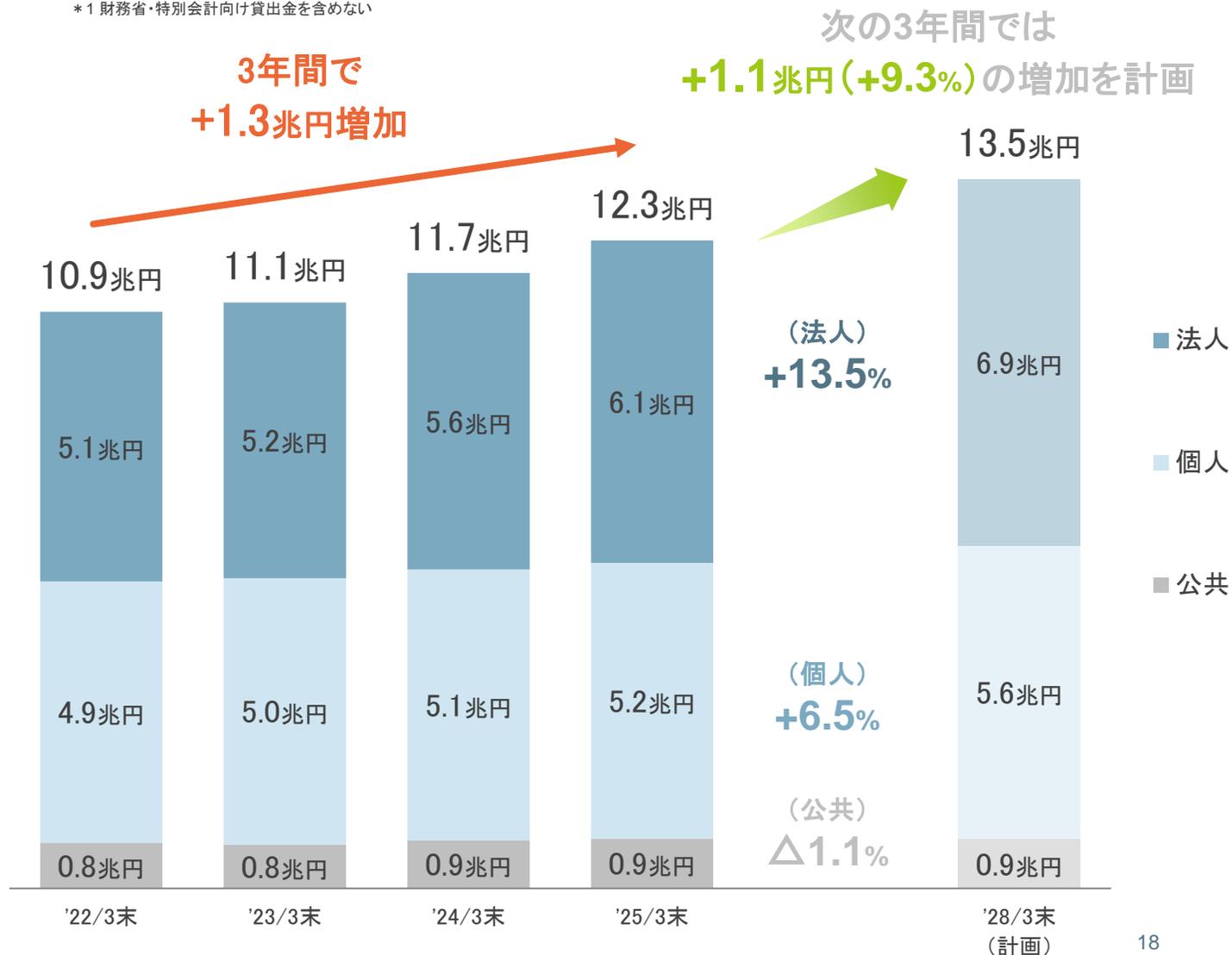
■ 貸出金の地方銀行セクター比較(上位10社・行)

貸出金末残(2025年9月末)(兆円)



■ 円貨貸出金平残*1の推移

*1 財務省・特別会計向け貸出金を含まない

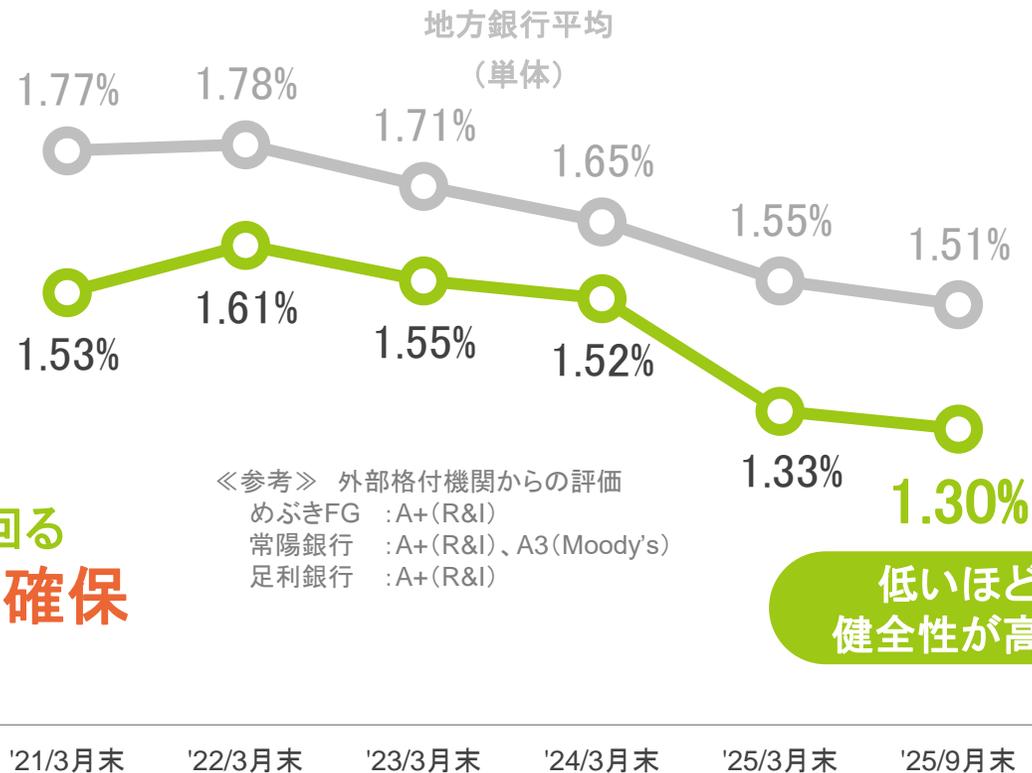


3 (3) 資本・資産の健全性

■ 自己資本比率(連結)



■ 不良債権比率(連結)



高い健全性を確保している一方で...

ROE比較(2024年度)

めぶきFG **5.9%** < 地銀大手行*1 **6.6%**

課題認識

ROEは地銀大手行よりも低く、
資本の効率性が劣後

今後は...

株主還元の積極化と合わせた
資本のコントロール

*1 横浜FG・千葉銀行・しずおかFG・ふくおかFGの平均値

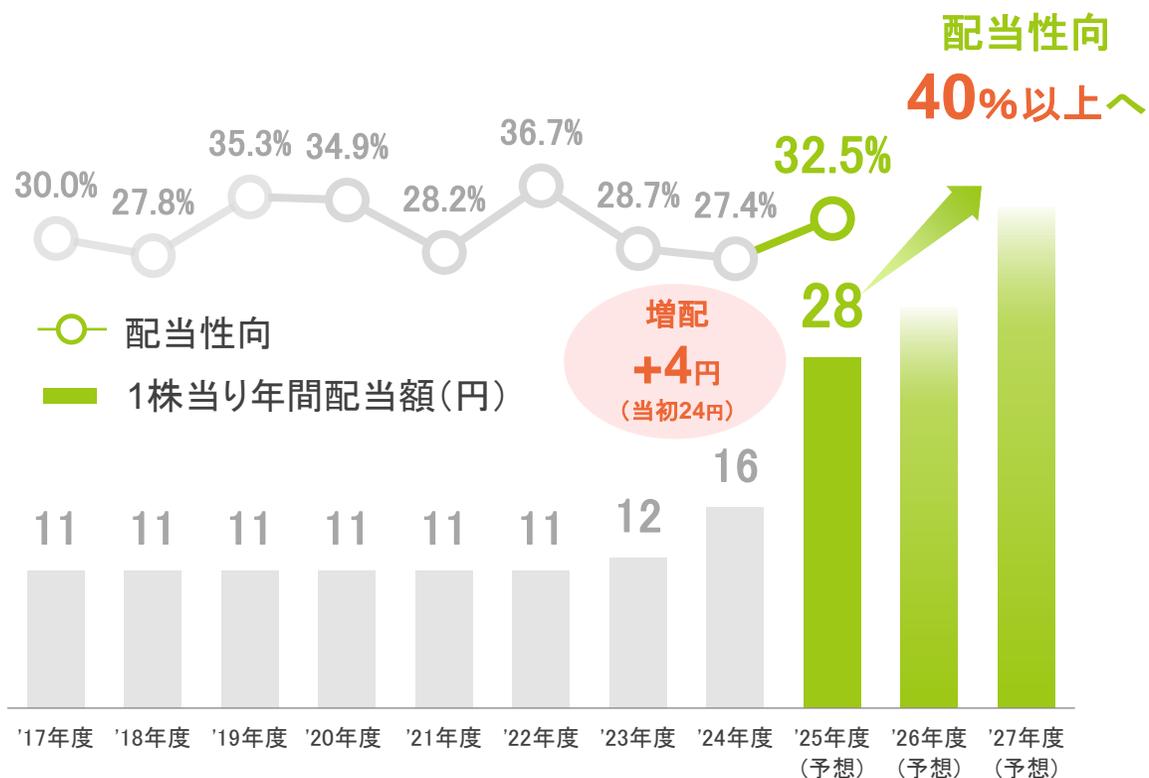
3 (4) 積極的な株主還元

■ 株主還元方針(2025年3月見直し)

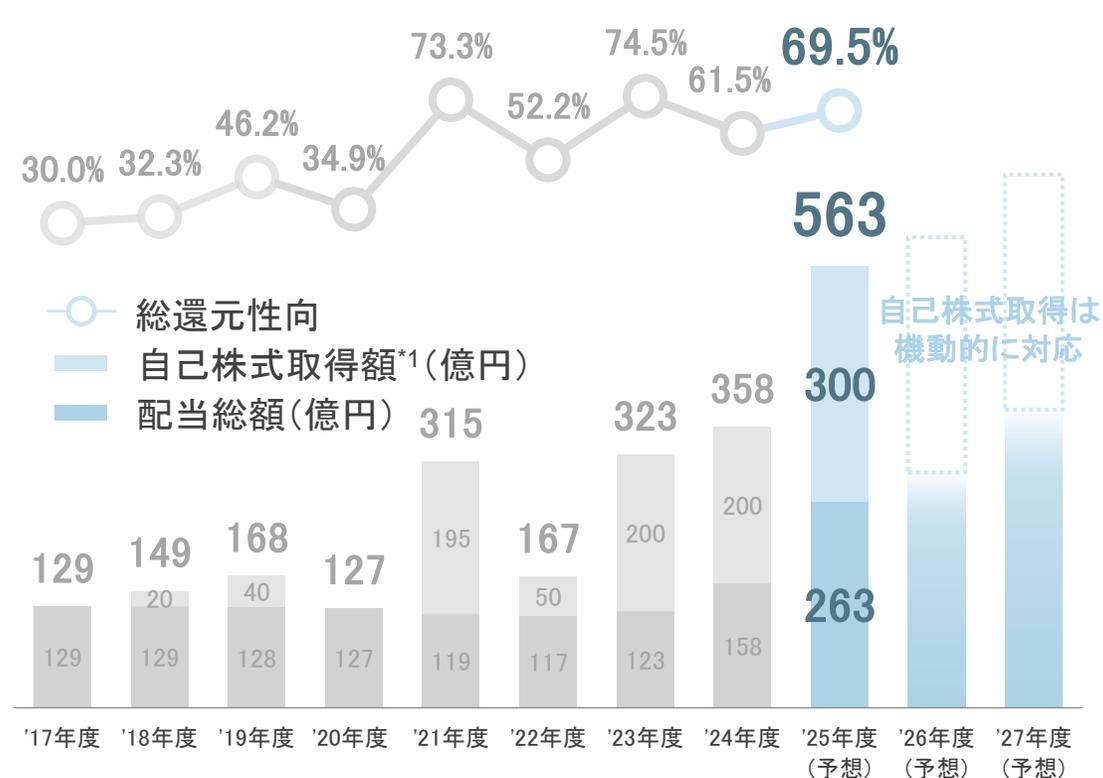
配当 ▶ 利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的・持続的な増加を基本とし、**配当性向は2027年度までに40%以上**への到達を目指す。

自己株式取得 ▶ 市場動向や業績見通し等に加え、成長機会の機動的な捕捉に備えた資本活用も考慮した**キャピタル・マネジメントにもとづき機動的に対応**。

■ 1株当り年間配当額



■ 配当・還元実績



*1 億円未満を四捨五入して記載

3 (4) 積極的な株主還元

■ 株主優待制度

対象となる株主さま

毎年3月末日を基準日とし、当社株主名簿に記録された
1,000株以上保有の株主さまのうち、継続して1年以上*1保有する株主さま

保有株式数	特産品等の金額目安	アイテム数
1,000株以上5,000株未満	2,500円相当	2025年度 611 アイテム (各コース合計)
5,000株以上10,000株未満	4,000円相当	
10,000株以上	6,000円相当	

《優待品例》



専用カタログから、保有株式数に応じて
お好みの特産品をお選びいただけます。

*1 継続して1年以上保有する株主さまとは、毎年の基準日(3月末日)とその前年の3月末日および9月末日の当社株主名簿に、同一株主番号で1,000株以上の保有が連続して記録されている株主さまとなります

株主構成における『個人株主』の割合*2

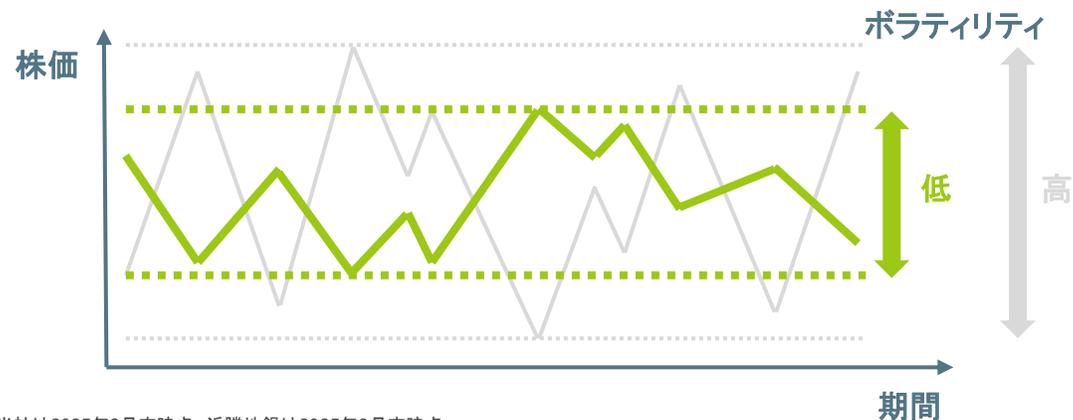
めぶきFG	近隣地銀A	近隣地銀B	近隣地銀C
22%	9%	11%	14%

株主優待制度は、多くの株主さまからご好評いただいております、
当社は『**個人株主**』の割合が高い。

個人株主が多いと、どうなるの？

一般的には・・・

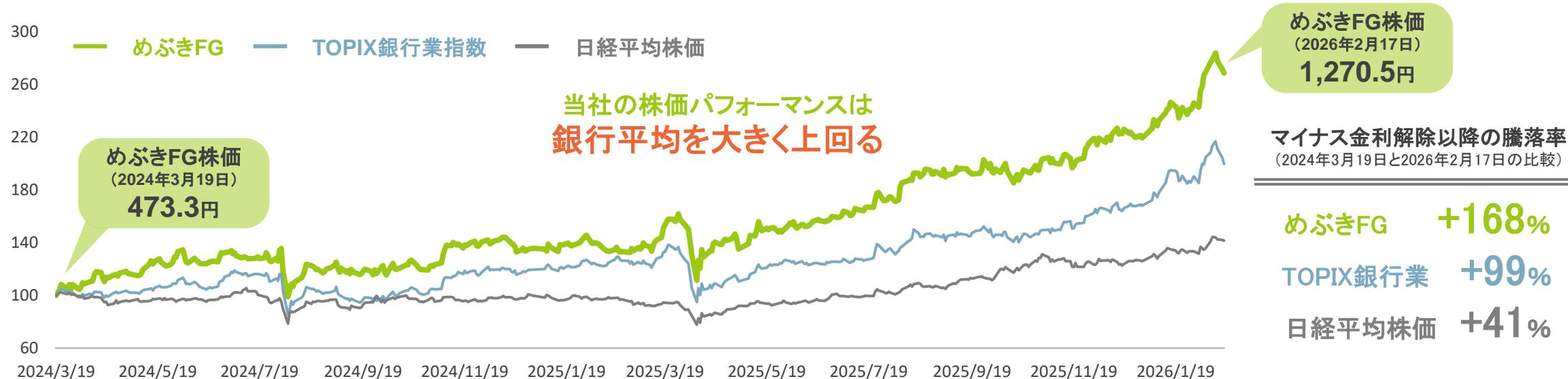
株価のボラティリティ(変動度合い)が低く、値動きが安定



*2 当社は2025年9月末時点、近隣地銀は2025年3月末時点

3 (5) めぶきフィナンシャルグループの株価推移

■ マイナス金利解除後の株価パフォーマンス (2024年3月19日: マイナス金利解除を100とした比較)



■ 他社・他行との比較 (株価関連指標)



*1 2026年2月17日の終値にて算出

1. めぶきFGってどんな会社？

2. 『銀行』と『金利』の関係は？

3. めぶきFGの強みとは？

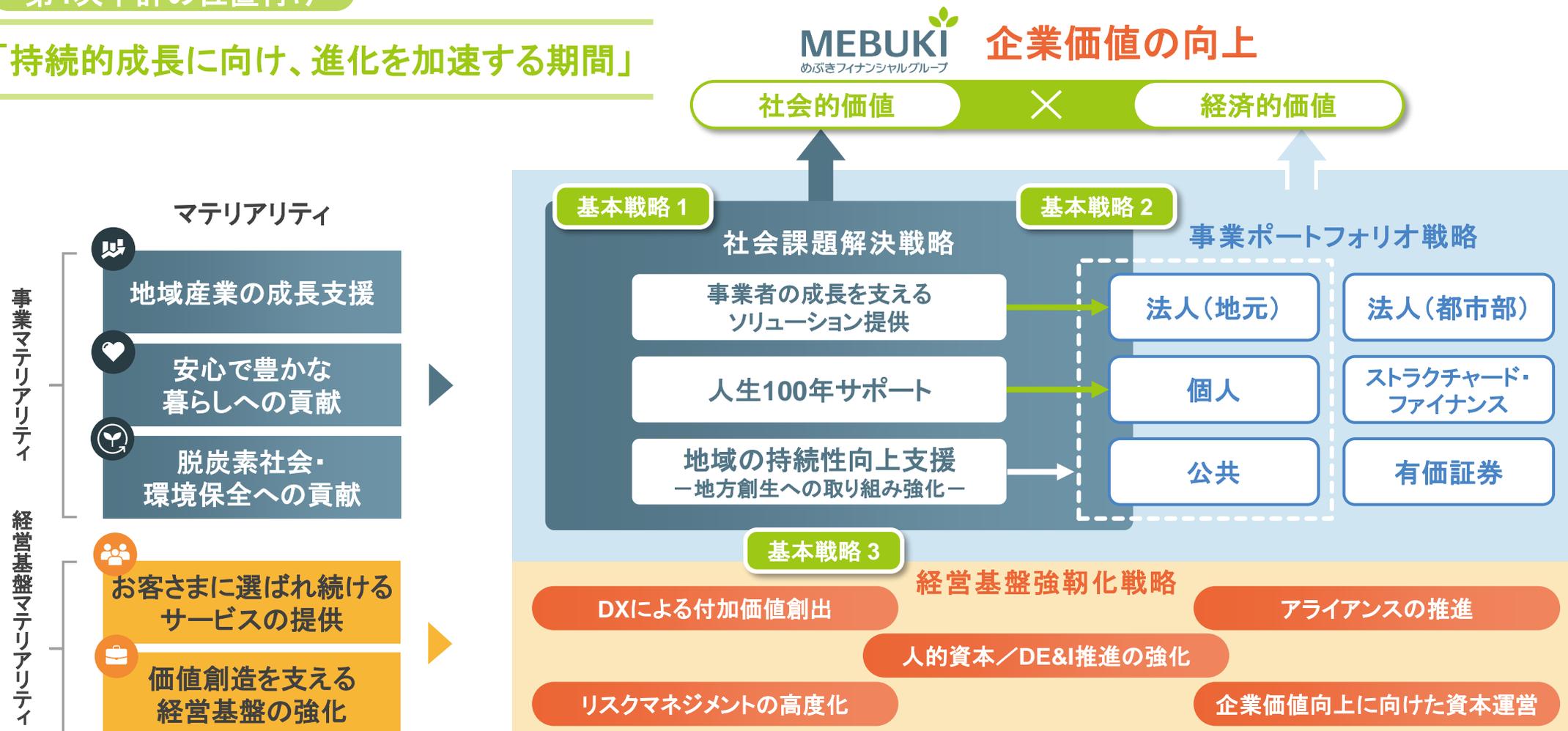
4. **めぶきFGってこれからどうなるの？**

4 (1) 第4次グループ中期経営計画の概要

■ 第4次グループ中期経営計画の全体像・戦略構成

第4次中計の位置付け

「持続的成長に向け、進化を加速する期間」



4 (2) 計数計画

■ 経営目標

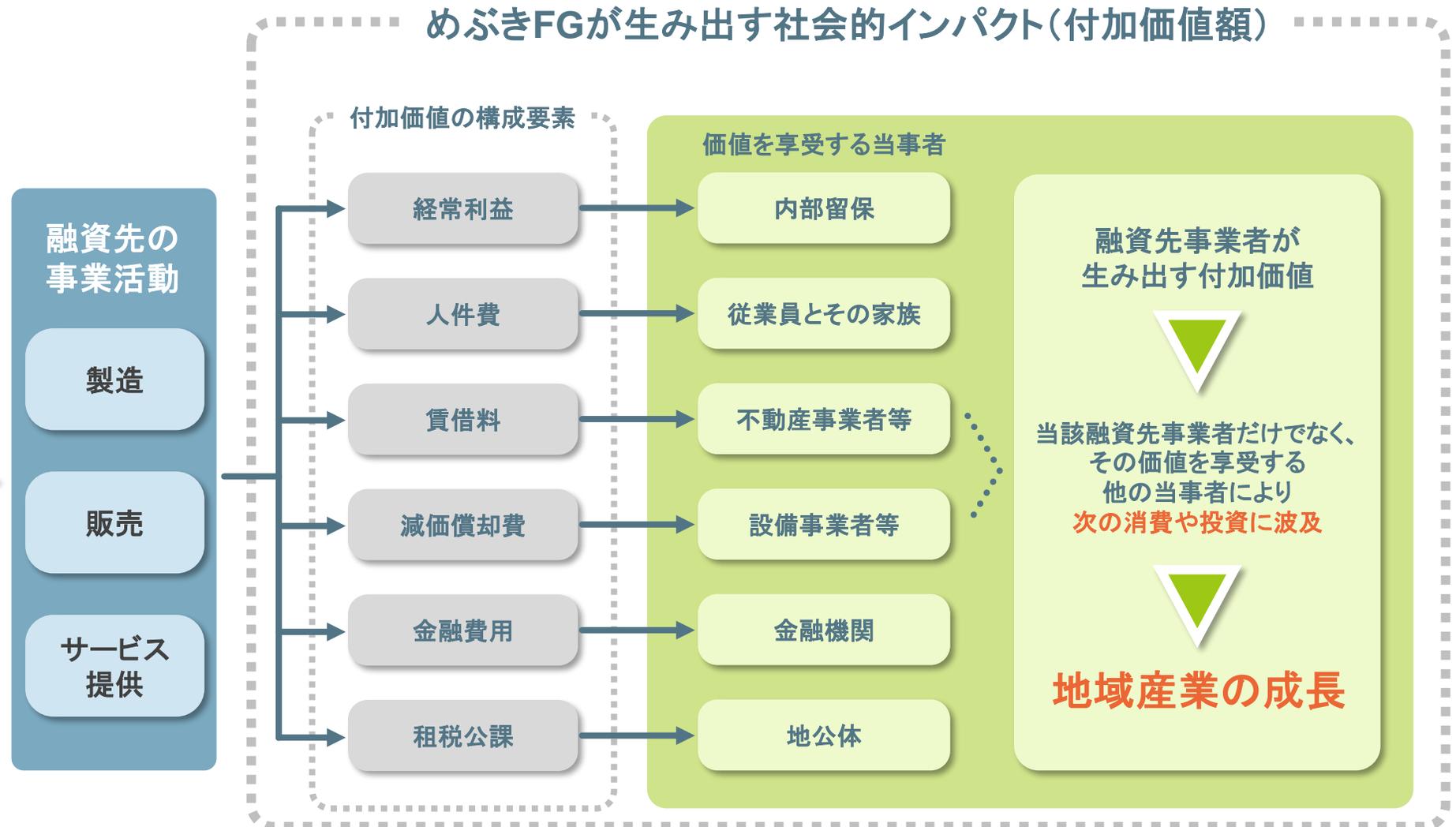
		2024年度 実績	2025年度 計画	...	2027年度 計画
		国内政策金利シナリオ 0.75%想定			
経営指標 (経済的価値)	連結ROE (純資産ベース)	5.9%	8.1%	...	9.0% 以上
	親会社株主に 帰属する 当期純利益	582億円	810億円 <small>上方修正 +110億円 (当初700億円)</small>	...	900億円 以上
社会的 インパクト指標 (社会的価値)	付加価値額 <small>取引先の成長支援に 当社グループが 主体的に関与した先の 付加価値額</small>	約2兆円 (2023年度実績)	—	...	持続的な 増加

...▶ 詳細は26ページ参照

4 (3) 社会的インパクト指標としての付加価値額

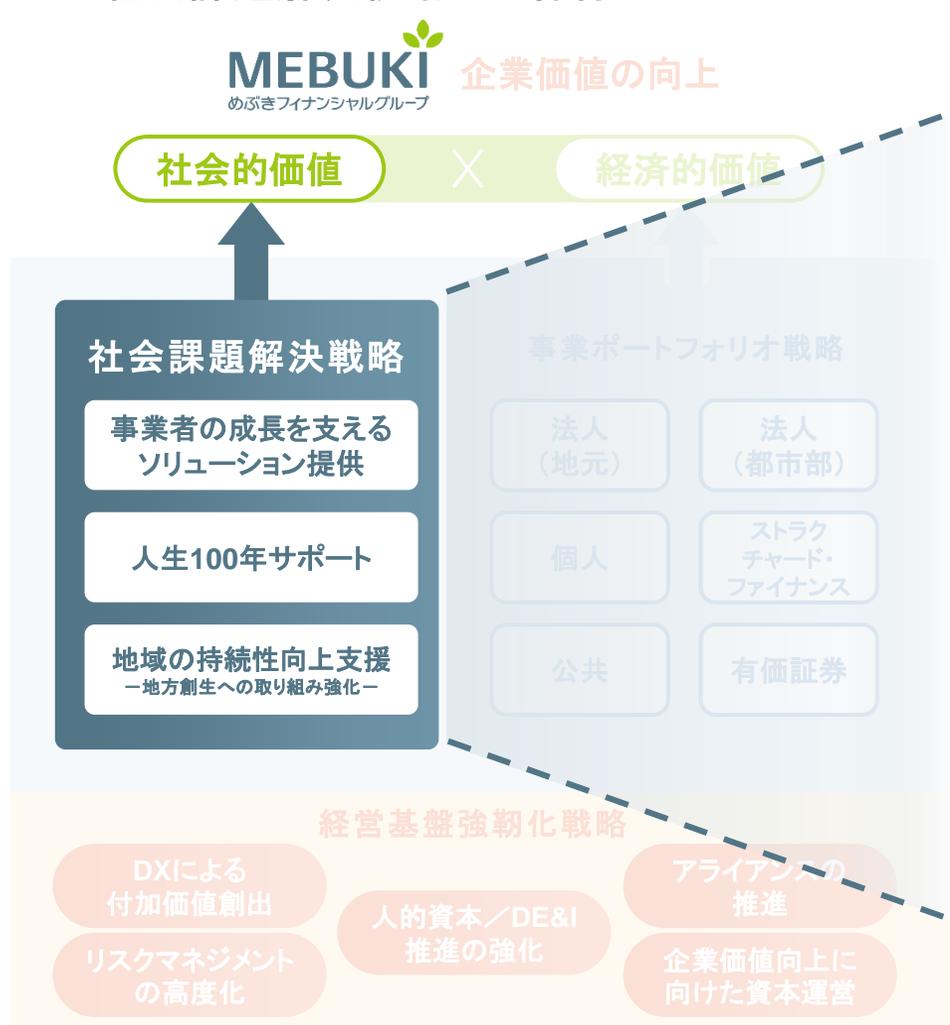
■ 社会的インパクト(付加価値額)とは

融資先の
成長支援を通じて
資金供給



4 (4) 事業活動を通じた社会的インパクト創出

■ 社会課題解決戦略の全体像



個別戦略	磨	成	創
	磨き上げる領域 (伝統的銀行領域)	成長を強化する領域 (総合金融サービス領域)	創造に挑戦する領域 (新事業領域)
事業者の成長を支えるソリューション提供	取引先事業者や地域の持続的成長に貢献するファイナンス、ソリューションの提供 経営改善・事業再構築支援 創業・スタートアップへの成長資金供給拡大	事業承継・M&A支援 人手不足への対応支援	地域事業者のオープンイノベーション促進 事業者の成長を支える事業のスケール化 スタートアップ成長支援
人生100年サポート	お客さまのライフプランニングを支える金融・非金融サービスのワンストップ提供		
地域の持続性向上支援 —地方創生への取り組み強化—	取引利便性の向上	金融リテラシー向上への取り組み強化	
	地域インフラの維持更新・再構築支援	地域サプライチェーンの維持・強靱化	地域資産の活用・承継
	地域の脱炭素化に向けたエンゲージメント、投融資拡大		再生可能エネルギーの普及促進

創出する主な社会的インパクト

地域経済への貢献額
(付加価値額)の拡大

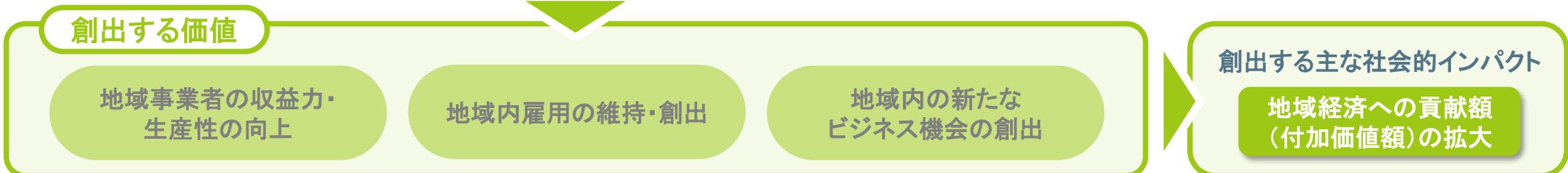
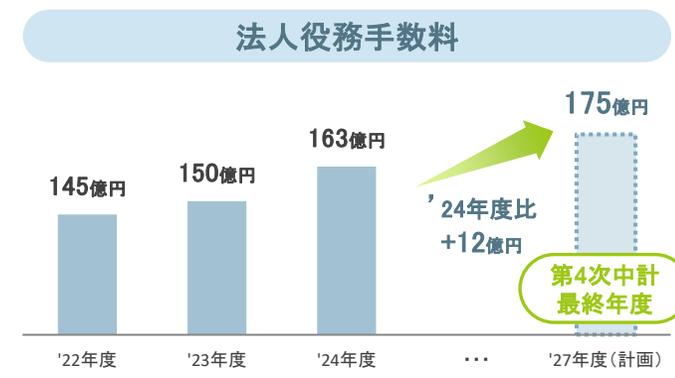
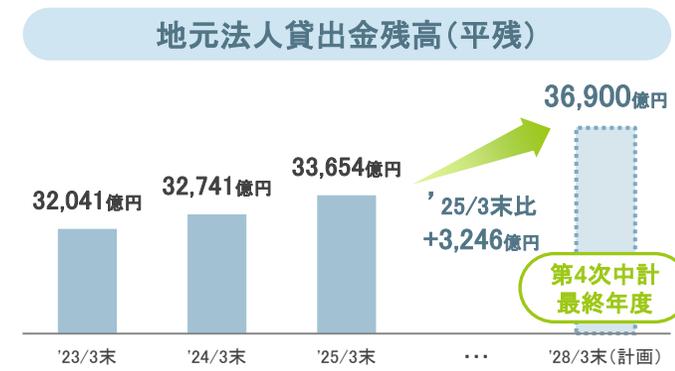
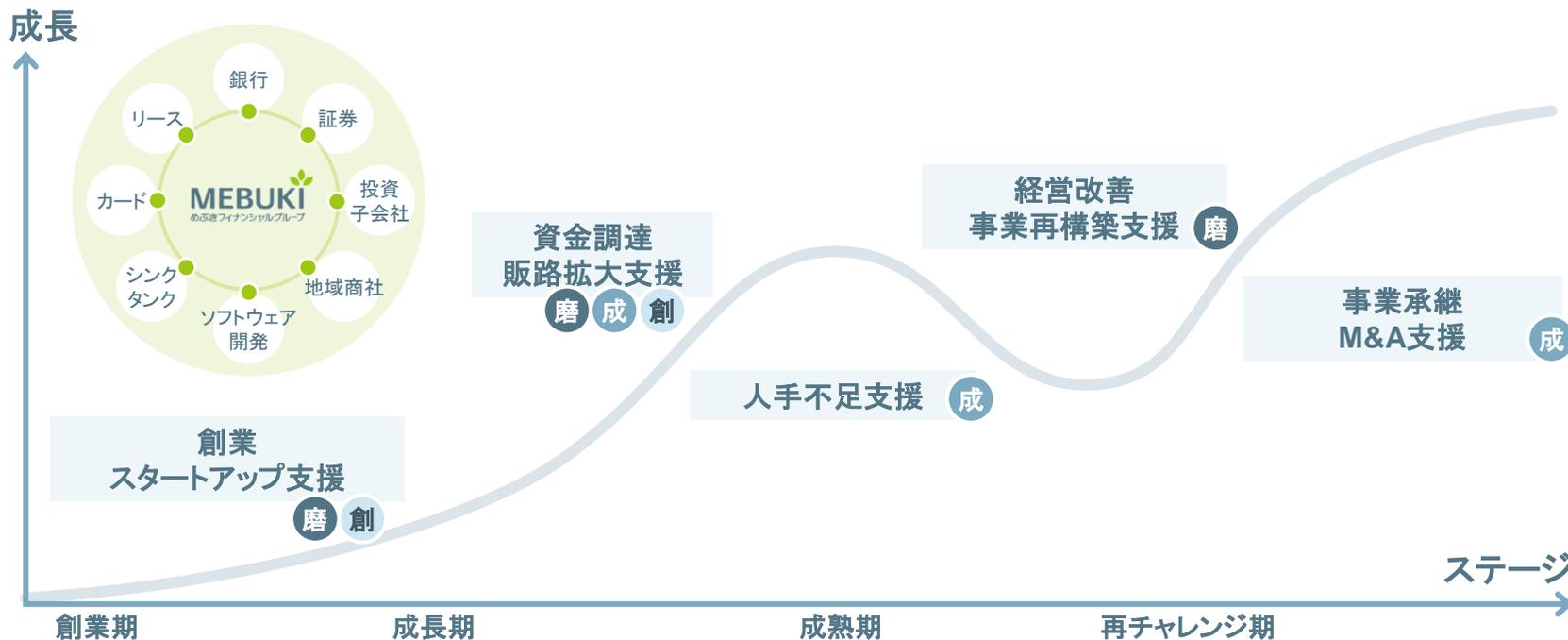
地域住民の豊かさの向上

環境負荷の軽減

4 (5) 社会課題解決戦略

■ 《個別戦略》 事業者の成長を支えるソリューション提供

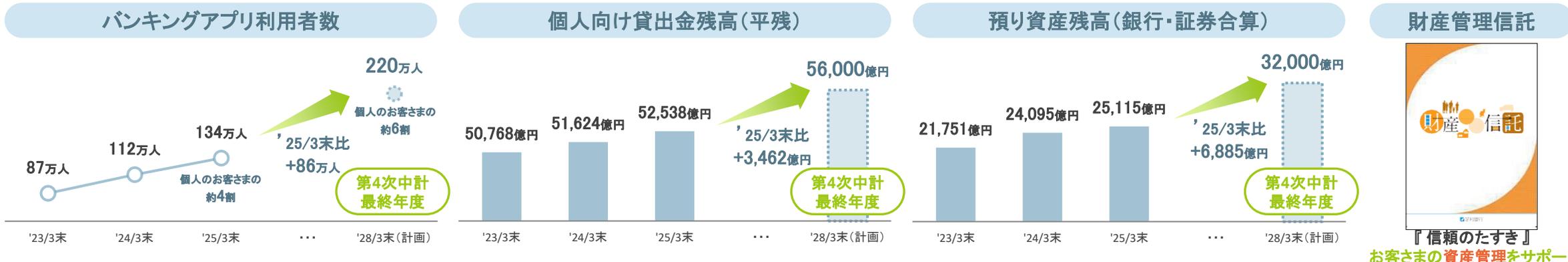
グループ営業シナジーの発揮や、グループ内外機関との連携による複合的・総合的なソリューション提供により、地域事業者の持続的な成長に貢献



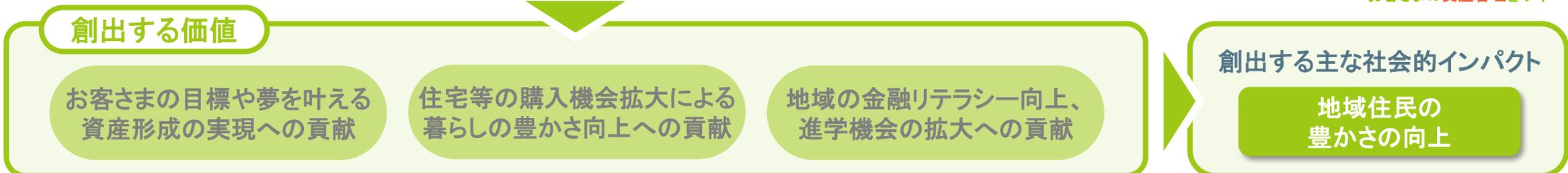
4 (5) 社会課題解決戦略

■ 《個別戦略》 人生100年サポート

お客さまのライフプランニングを支える金融・非金融サービスをワンストップで提供することにより、生涯にわたる安心で豊かな暮らしの実現に貢献



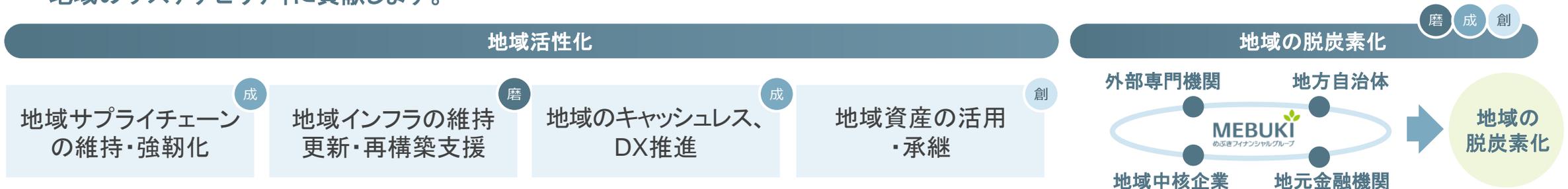
『信頼のたすき』
お客さまの資産管理をサポート



4 (5) 社会課題解決戦略

■ 《個別戦略》 地域の持続性向上支援 – 地方創生への取り組み強化 –

地域の活性化・脱炭素化に向け、当社グループがハブとしての機能を発揮することにより、地域のサステナビリティに貢献します。



取組事例：地域社会の活性化に向けた取り組み

- 地域社会の活性化を担う若者層を中心に成長する新たな文化への支援。
- プロスポーツチーム「Detonation FocusMe」へのスポンサー活動を通して、デジタルネイティブ世代との接点強化をはかるとともに地域イベントの開催等を通じた金融リテラシー向上・地域活性化に取り組んでいく。



取組事例：再生可能エネルギーの地産地消

- コレトチは、ながわ水遊園等の栃木県有施設へグリーンエネルギーの提供を開始(2025年3月)。



創出する価値

地域の安心・安全、
便利で豊かな暮らしの実現

脱炭素社会への移行、
エネルギー問題解消への貢献

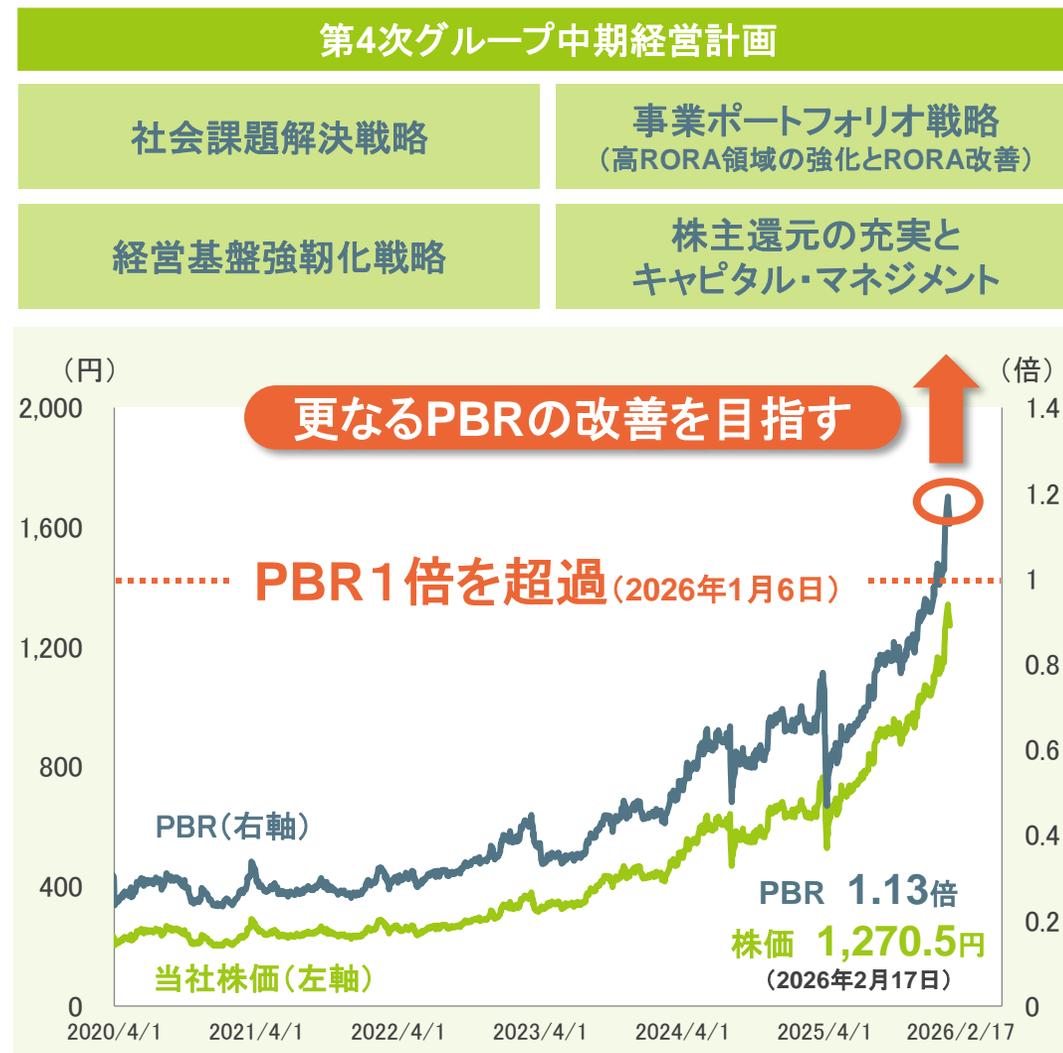
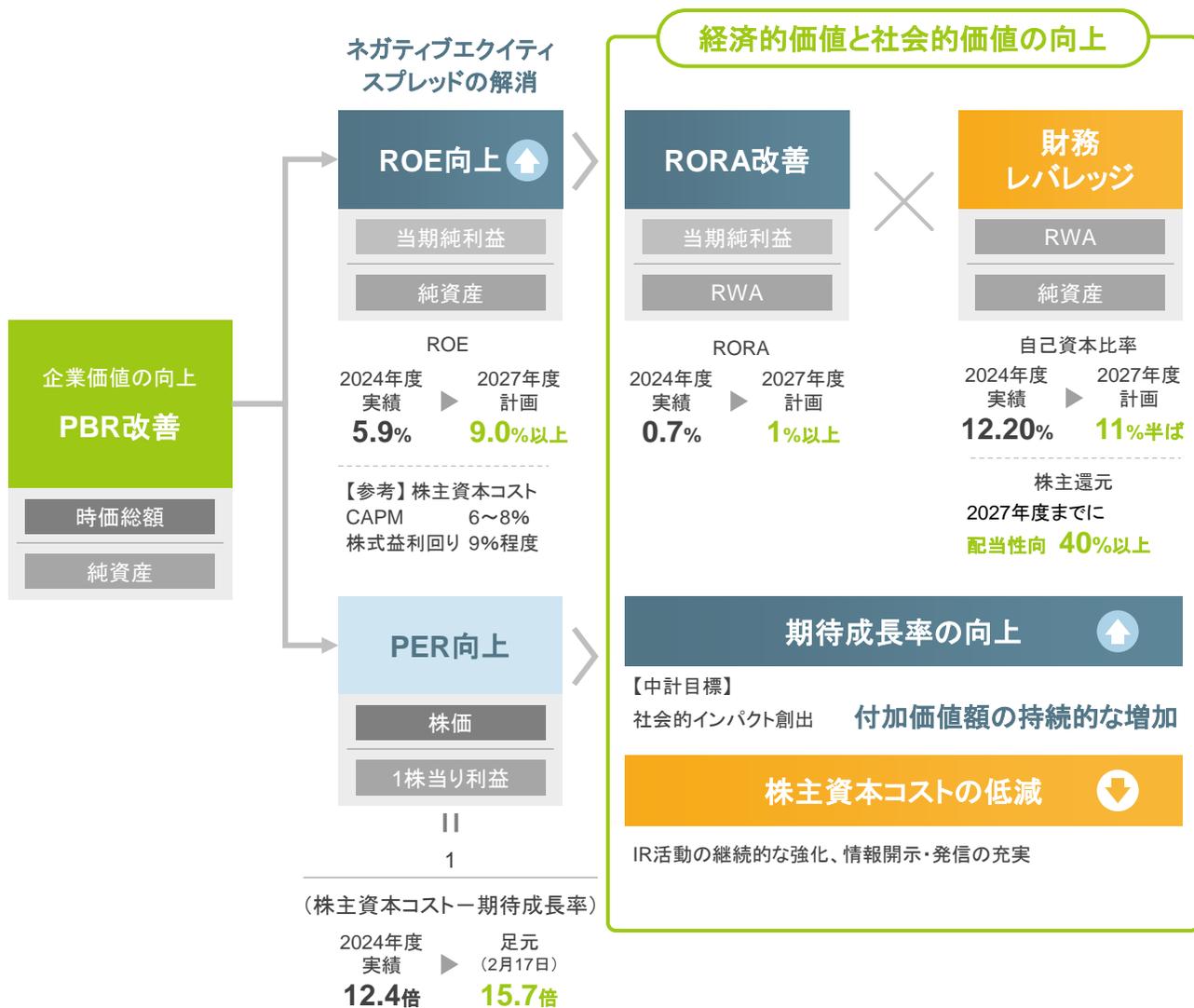
創出する主な社会的インパクト

地域住民の
豊かさの向上

環境負荷の軽減

4 (6) 企業価値の向上(PBRの改善)に向けて

■ 企業価値の向上(PBRの改善)に向けた戦略展開



ご参考資料

(参考) めぶきフィナンシャルグループ 統合報告書 2025

■ 統合報告書の概要



第4次グループ中期経営計画のコンセプトである「**社会的価値と経済的価値の両立**」に焦点をあて、トップの経営に対する考えや地域、従業員等への想い、マテリアリティ解決のための事業戦略などを説明。

社長メッセージ

「**地域とともにあゆむ価値創造グループ**」の実現を力強く推し進めていく

《Topics》

- 「金利ある世界」への展開を追い風に
- 社会的価値と経済的価値の両立に本気で取り組む
- 企業価値の向上に向けて
- 求心力と遠心力をミックスさせ、さらなるシナジーを生み出す
- 誰もが成長し活躍できるフィールドを作っていく
- 私たちの成長を株主にも還元していく

※ 本誌は、当社ホームページに掲載

https://www.mebuki-fg.co.jp/shareholder/ir_library/disclosure/

(参考) ホームページのご案内

株主・投資家の皆さまに向けたコンテンツ

トップページ
<https://www.mebuki-fg.co.jp/>

株主・投資家の皆さまへ
<https://www.mebuki-fg.co.jp/shareholder/>

掲載コンテンツ

- 業績・財務情報
- 株式のご案内
- IRライブラリー
- ESGへの対応
- 株主優待について
- IRカレンダー
- IRに関するよくあるご質問

など、随時更新してまいります。

最新の情報はこちら

本件に関する問い合わせ先

株式会社めぶきフィナンシャルグループ経営企画部

TEL 029-233-1151 (代表)

E-mail ir@mebuki-fg.co.jp

URL <https://www.mebuki-fg.co.jp/>



ご注意

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の有価証券等の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部または一部は予告なしに修正または変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営を取巻く環境の変化などにより 実際の数値と異なる可能性があります。